

総括シート〔令和5年度〕

施設名称	品川区立品川産業支援交流施設
指定管理者	品川ビジネスクラブ・マグネットスタジオ共同事業体
施設所管課	地域振興部 地域産業振興課

<設置目的>

企業の事業の拡張および新たな事業の創出を支援し、ならびに企業間の交流を促進するとともに、区民の地域活動を推進し、もって区の地域産業の活性化を図る。

指定管理業務の概要

- (1) 産業施設の運営に関すること。
- (2) 産業振興に係る事業の企画、運営等に関すること。
- (3) 事務室を除く施設使用の承認ならびに施設使用の承認取消し、使用の停止および使用の条件の変更に関すること。
- (4) 利用料金の徴収に関すること。
- (5) 産業施設の維持および修繕に関すること。
- (6) 前各号に掲げるもののほか、区長が特に必要があると認めた業務に関すること。

事業報告書に添付した管理運営実績に関する統計情報の概要

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
ホール稼働率 (%)	47.2	74.2	74.9
オフィス入居者 (社)	16	16	16
ラウンジ会員数 (社)	法人会員 57	法人会員 59	法人会員 63
	個人会員 134	個人会員 136	個人会員 150
利用者満足度 (%)	94.1	89.2	97.3

事業報告書に添付した管理運営実績に関する事業収支の概要 (単位:円)

	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収 入	3階 利用料金及び雑収入	86,229,650	122,282,350	133,829,322
	4階 利用料金及び雑収入	82,015,465	86,620,348	89,960,923
	小計	168,245,115	208,902,698	223,790,245
支 出	3階 事業運営経費・建物維持管理等	57,500,951	82,128,576	85,126,249
	4階 事業運営経費・建物維持管理等	129,985,825	154,971,694	151,282,846
	小計	187,486,776	237,100,270	236,409,095
収 支	3階 収支差額	28,728,699	40,153,774	48,703,073
	4階 収支差額	△47,970,360	△68,351,346	△61,321,923
	小計	△19,241,661	△28,197,572	△12,618,850
指定管理料 (※)		47,970,360	68,351,346	61,321,923

(※) 3階・4階を区分して管理し、区分ごとの収入および収支に応じて指定管理料を決定している。

総括（積極的に評価した事項、改善が必要な事項）

【積極的に評価した事項】

4階オープンラウンジ等における利用者アンケートの満足度は97.3%であり、昨年より8ポイント上昇した。指定管理者職員による利用者との日々のコミュニケーションを通じて利用者ニーズの把握に努め、設備・機器等の導入および機能改善（個室型作業スペースおよびメールボックスの増設、オンライン会議需要に伴う貸出品の拡充、多目的ルームのワイヤレスマイク導入）を積極的に行うほか、利用者満足度向上のための取組が継続的に進められている。また、工房、会議室の利用時間も増加しており、高い稼働を実現している。

【改善が必要な事項】

- ・老朽化による机・ソファ等設備の入替
- ・対面、オンラインのハイブリットな働き方ができるようなインフラの更なる整備

改善が必要とされた原因の分析および対応方針

設備については、会員の声を聞きながら、環境を整える。

オンラインの環境については、画面投影モニタ・充電ケーブル・HDMIケーブルの追加やWeb会議専用スペース等の整備を更に促進する。

「評価の視点」別のコメント

1 区民満足の視点

・3階ブライトコアホールにおいては、年間稼働率が74.9%となり、前年度（令和4年度：74.2%）から微増した。利用者アンケートによるホール利用者の満足度については、「とても満足」が95%、「やや満足」が5%と高水準の満足度を維持しており、コロナ禍以前と同じように、安全・安心に利用できる施設であるという評価を受けている。

・4階オープンラウンジ等における利用者アンケートの満足度は97.3%であり、昨年より8ポイント上昇した。指定管理者職員による利用者との日々のコミュニケーションを通じて利用者ニーズの把握に努め、設備・機器等の導入および機能改善（キャッシュレス決済拡充、フォーカスパネルの導入等）を積極的に行うほか、利用者満足度向上のための取組が継続的に進められている。

2 予算執行（財務）の視点

・収入について、3階ホール、4階オープンラウンジ会費やオフィス使用料については、予算見込みを上回る利用者収入を確保した。

・支出については利用者満足度の向上やサービス改善に必要な支出を行いつつ、管理費の節減にも努め、予算枠内での執行に取り組んだ。

3 サービス向上および業務改善の視点

・4階のSHIPラウンジ会員については、12月に実施したメールBOX増設などにより令和5年度も引き続き高い水準を維持している。そうしたサービス向上および業務改善の成果もあり、法人会員、個人会員、ワнтаイム会員数は全て前年度より増加した。

・工房については、定期的なセミナーに加え、これまで3Dプリンター等を利用したことがなかった区内中小企業者等に「ものづくり相談」、「出前講座」、「区内産業向け工房施設見学会（工房出前講座）」などを実施した効果もあり、前年度から利用時間17%増を達成している。

・多目的ルームについては、いずれも前年度と比較し、大幅に利用率が向上した。

・第一会議室は、インキュベーションマネージャーと利用者との相談時において、プライバシーに配慮するケースの際に無料で活用する等用途を柔軟に変更し、空き状況の有効活用を図った。

4 組織管理体制および業務の適正執行の視点

・一般財団法人品川ビジネスクラブと株式会社マグネットスタジオが共同事業体として指定管理業務を行っており、両者による定例の会議により意思疎通が図られている。区と共同事業体の間でも事業進行管理会議が毎月行われており、3階ブライトコアホールの利用状況や予約状況、4階交流室等の利用状況や産業振興事業の概要が報告されている。

・職員研修を通じて、待遇レベルの維持向上や、防災・安全対策の取組を継続しているほか、災害時の緊急連絡について、土曜日、日曜日も含め区およびビル管理会社への迅速な報告、職員間の情報共有を確実にしている。

※ 区政運営会議における評価結果

評価の結果、総括シートの内容のとおりとする。引き続き利用者満足度向上のための取組を実施するとともに、利用者ニーズに即した機能改善を積極的に行うこと。

総括シート〔令和5年度〕

施設名称	品川区立総合区民会館
指定管理者	公益財団法人 品川文化振興事業団
施設所管課	文化観光スポーツ振興部 文化観光戦略課

<設置目的>

区民の文化活動の促進およびコミュニティ活動の振興を図る。

指定管理業務の概要	
(1) 一般貸出施設の運営に関する業務 (2) 使用の承認および取り消しに関すること (3) 利用料金の徴収に関すること (4) 施設等の維持および修繕に関すること (5) その他区長が必要と認めた業務	

事業報告書に添付した管理運営実績に関する統計情報の概要			
項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用可能日数(日)	5,455	1,025	6,533
施設稼働率(%)	66.7	66.3	80.6
利用回数(件)	6,871	1,293	11,008
区民：区外比率(%)	58.1：41.9	59.5：40.5	51.3：48.7

事業報告書に添付した管理運営実績に関する事業収支の概要(単位：円)				
	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収	管理運営委託料	150,578,000	112,855,000	98,069,000
	利用料金等	117,919,443	15,423,535	162,160,271
入	その他	0	0	0
	小計	268,497,443	128,278,535	260,229,271
支出	指定管理事業費	202,866,750	117,966,999	236,232,313
差引収支		65,630,693	10,311,536	23,996,958

総括（積極的に評価した事項、改善が必要な事項）

（評価した事項）

- ・大ホールのリニューアルオープンにあたり柿落し公演の開催や、区広報紙、事業団ホームページ、インフォキュリアによる再開周知を積極的に実施したことにより、利用率、収入ともにコロナ禍や大規模改修工事前の水準に徐々に近づいてきた。
- ・導入2年目となる窓口キャッシュレス決済による収入は、令和5年度は総利用料収入の約23%を占め、窓口キャッシュレス決済利用者は毎月徐々に増加してきた。
- ・大規模改修工事後、区および工事施工者による半年検査をはじめ2年間の定期検査を継続的に実施し、施工後の検証を実施している。
- ・新型コロナウイルス感染症対策については、国の5類感染症への位置づけをうけ、館内でのマスク着脱は利用者判断に委ねる、会食を伴う催事は着席形式、料理の個別提供の制限を緩和するなど取り組み内容を変更し、国等の動向を注視しながら来館者の安全・安心の確保に努めた。
- ・事業団職員全員参加によるユニバーサルマナー研修を実施し、障害者に対する合理的配慮ならびに適切な対応についての知識を深めた。

（改善事項）

- ・大規模改修工事後、ビスの緩みによる大ホール客席座面のずれや舞台床面の剥がれなど、複数発生している軽微な不具合について、補修等の対策を講じる必要がある。

改善が必要とされた原因の分析および対応方針

- ・工事後発生している不具合事象等に対し、適宜、区および工事施工者と状況を確認し、原因を調査し、補修等必要な対策を講じている。
- ・この不具合事象については、今後2年間の定期検査において関係者間で共有し、連携強化を図っていく。

「評価の視点」別のコメント

1 区民満足の視点

- ・令和5年度は区の委託事業者による利用者満足度調査に協力し、結果報告ではサービス全体で高評価を得た。例年実施している独自のアンケート調査は実施を見送った。令和6年度以降、独自のアンケート調査を再開し、利用者の意見や要望をしっかりと把握していく。
- ・これまでのアンケートで要望のあった老朽化した空調設備や備品等については、今回の大規模改修工事において更新し、一定の改善を図った。

2 予算執行（財務）の視点

- ・利用料収入については、新型コロナウイルス感染症対策や大規模改修工事による休館の影響により、平常時の収入レベルには達しないまでも、予算額に対して104.2%の収入を確保できた。
- ・大井町再開発ビル管理組合の一員として他のメンバーと連携し、エネルギー使用量に配慮しつつ、光熱水費等の経費圧縮を図り、歳出の抑制に努めた。

3 サービス向上および業務改善の視点

- ・大ホール改修工事が完了し、天井耐震化、エレベータ増設、バリアフリートイレ、通路手すりの整備など安全性・機能性を満たした施設として全館貸し出しを再開した。
- ・利用料の収納において、利用者の利便性の向上のため、窓口キャッシュレス決済および口座振替の利用について来館者への案内を強化した。
- ・品川文化振興事業団のホームページについて、プロジェクトチーム等による内部検討を継続し、より見易く分かり易い内容に適宜リニューアルしている。

4 組織管理体制および業務の適正執行の視点

- ・専門性や効率化の観点から舞台運営管理や窓口業務等について業務委託を行い、経費の削減を図るとともに、委託事業者との協働により高品質のサービス提供に努めた。
- ・業務委託先と定期的な打合せ会を開催し、情報の共有化を図るなど連携を強化し、適切な業務執行に努めた。
- ・コロナ禍を機に、オンライン会議やテレワークを適宜実施し、業務の効率化を図った。
- ・施設利用者等の安心・安全確保のため、大井町再開発ビルの関係者による合同防災訓練を5月および11月の2回（うち11月は事業団主催）実施した。

※ 区政運営会議における評価結果

評価の結果、総括シートの内容のとおりとする。引き続き利用者の利便性向上および利用者満足度向上のための取組を推進していくとともに、発生している工事後の軽微な不具合に対して適切な措置を講じること。

総括シート〔令和5年度〕

施設名称	品川区立荏原平塚総合区民会館
指定管理者	公益財団法人 品川文化振興事業団
施設所管課	文化観光スポーツ振興部 文化観光戦略課

<設置目的>

区民の文化芸術活動およびスポーツ活動の推進ならびにコミュニティ活動の振興を図る。

指定管理業務の概要	
<p>(1) 施設の運営に関すること。</p> <p>(2) 文化芸術活動およびスポーツ活動に係る事業の運営に関すること。</p> <p>(3) 会館の施設および設備の使用の承認および承認の取り消しに関すること。</p> <p>(4) 利用料金の徴収に関すること。</p> <p>(5) 施設等の維持および修繕に関すること。</p> <p>(6) その他、区長が特に必要があると認めた業務。</p>	

事業報告書に添付した管理運営実績に関する統計情報の概要			
項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	82,112	120,865	128,810
利用件数(件)	6,154	7,402	7,320
稼働率(%)	70.9	80.4	81.1

事業報告書に添付した管理運営実績に関する事業収支の概要(単位:円)				
	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収 入	管理運営委託料	161,920,000	131,280,000	126,338,000
	利用料金	47,025,560	63,099,790	65,092,600
	その他	0	0	0
	指定事業	1,682,340	1,801,675	523,820
	小計	210,627,900	196,181,465	191,954,420
支 出	指定管理事業費	167,727,272	184,034,419	185,258,897
	指定文化事業費	9,062,582	4,834,670	5,888,540
	小計	176,789,854	188,869,089	191,147,437
差引収支		33,838,046	7,312,376	806,983

総括（積極的に評価した事項、改善が必要な事項）

【積極的に評価した事項】

- ・令和5年度にスクエア荏原は開館10周年を迎え、これを記念して「スクエア荏原10周年記念フェスタ」を開催した。10月3日からの「スクエア荏原10年のあゆみ展」を皮切りに「和文化フェスタ（楽座）」「スクエアマルシェ（楽市）」、クラシックコンサートやワンコインシネマ、親子向けスポーツ体験など盛りだくさんなイベントを周辺地域の協力を受け円滑に実施した。多くの来場者を迎え、テーマに掲げた「地域と共に次の10年へ」を体現する機会となった。
- ・通常の指定管理業務に加えて、令和6年5月の品川区施設予約システムのリニューアルに向けた困難な移行準備・検証作業等を引き受け着実に進捗させた。
- ・スクエア荏原避難所連絡会議を訓練前後3回開催し避難所設営訓練（区内一斉防災訓練）を円滑に実施した。避難対象3町会・関係諸機関との調整を行う中で、地域との繋がりを深め発災時の対応力を向上させた。

【改善が必要な事項】

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響が全くなかった平成30年度の水準に比べて、中会議室以下の第1～第5小会議室の回転率の回復が遅れている。
- ・展示室については、新型コロナウイルス感染拡大以前から、回転率が10%台と低迷している。

改善が必要とされた原因の分析および対応方針

【原因の分析】

- ・中会議室以下の小会議室の回転率回復の遅れは、新型コロナウイルス感染症拡大を契機として、対面での会議等の実施が見直されていることの影響と考えられる。
- ・展示室については、建物4階に位置し目立たず気軽に観覧することが難しい構造となっている。

【対応方針】

- ・利用率の低い施設の魅力をあらゆる機会をとらえ様々な方法によりPR・発信することで、回転率の向上や利用料収入増を図る。
- ・展示室において主催事業を実施することで、利用方法の可能性をPRし回転率の向上を図る。

「評価の視点」別のコメント

1 区民満足の視点

- ・毎年実施している「利用者アンケート」調査（満足度）では、施設の状態について「満足」「やや満足」の合計が95.4%（前年度89.8%）、設備・備品については91.6%（同85.5%）、受付窓口については93.9%（同89.8%）、舞台打合せについては96.3%（同100%）といずれも非常に高い水準を保っている。
- ・利用者アンケート（満足度）のうち、設備・備品について「やや不満」「不満」の合計が1.8%（他の項目は0%）となっている。また、「自由意見」において譜面台や姿見等の設置要望が出されている。各施設の広さや利用目的等を検討し計画的に整備されたい。また、竣工から10年が経過し施設・設備の経年劣化がこのところ目立つようになっている。計画的に修繕・更新を行い利用者の利便を損なうことのないように対応されたい。

2 予算執行（財務）の視点

- ・稼働率の低い施設の利用料収入増を図るとともに、引き続きの経費削減や事業の見直しなど歳出削減の努力が求められる。
- ・指定文化事業（特に公演）について、目的・対象・内容等を精査し、事業団内部や区の事業との調整を図り、効果的・効率的に実施する必要がある。
- ・アリーナの LED 化工事期間が短縮になったことに即して、利用再開の対応をとり収入減を抑えることができた。

3 サービス向上および業務改善の視点

- ・利用者の意見・要望や苦情が寄せられた場合、区と速やかに情報共有を行い、対応につき協議・役割分担をした上で、指定管理者として迅速かつ適切に対応した。
- ・ひらつかホールの利用予約がない日に、舞台上で演奏体験する「ひらつかホール演奏体験会」は令和5年度も定員を超える応募があり盛況であった。今年度から区民を優先とする抽選方法とした。アンケートでは参加者から喜びの声が寄せられている。収益の増加にも貢献し区民サービスの向上と空き施設の有効活用を図った好事例である。

4 組織管理体制および業務の適正執行の視点

- ・統括責任者として館長を置き、係長級以下実質4名（内1名は週3日勤務、他に2月から週3日の臨時職員が配置された）の常勤職員で職務を分担している。会館施設管理業務から日常の施設貸出等に伴う庶務的業務、指定文化事業・自主事業の企画・運営、さらには地域防災拠点として避難所連絡会議の調整等の業務まで、広範囲にわたる業務を館長・職員の努力により遂行している。
- ・令和5年度は開館10周年関連事業および品川区施設予約システムの更新準備作業と例年にない業務をこなした。
- ・施設・受付・舞台の各担当から業務日報の作成、提出を依頼することで、業務が確実かつ適正に執行されていることを確認している。必要に応じてアンケートの内容を共有し、より良い区民サービスへ反映している。
- ・月に1度（保守点検日に設定）、館内運営会議を実施し、情報共有や課題検討を行っている。
- ・自衛消防訓練・平塚すこやか園合同避難訓練、情報セキュリティ研修、エコリンク研修などの職務に必要な訓練・研修が計画的に実施されている。

※ 区政運営会議における評価結果

評価の結果、総括シートの内容のとおりとする。引き続き利用者からの意見をしっかりと聴取することによって、計画的かつ効果的に設備等の更新を行い、利用者満足度の維持・向上に努めること。また、施設PR手法について検討し、稼働率の回復に努めること。

総括シート〔令和5年度〕

施設名称	品川区立体育館（総合体育館・戸越体育館）
指定管理者	公益財団法人品川区スポーツ協会
施設所管課	文化観光スポーツ振興部 スポーツ推進課

<設置目的>

区民の体育、スポーツおよびレクリエーションの普及・振興を図り、心身の健全な発達に寄与する。

指定管理業務の概要	
(1)	施設等の貸出しおよび適正利用に関すること。
(2)	体育、スポーツおよびレクリエーションに係る事業の運営に関すること。
(3)	利用料金の徴収に関すること。
(4)	施設等の維持および修繕に関すること。

事業報告書に添付した管理運営実績に関する統計情報の概要			
項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数（人）	178,345	266,800	303,380
利用件数（件）	3,433	4,935	4,898
施設稼働率（%）	74.6	80.4	81.3

事業報告書に添付した管理運営実績に関する事業収支の概要（単位：円）				
	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
収	管理運営委託料	189,758,026	177,985,560	173,407,406
	利用料金	27,876,375	45,749,820	48,650,890
入	小計	217,634,401	223,735,380	222,058,296
支	指定管理事業費	217,634,401	223,735,380	222,058,296
	差引収支	0	0	0

総括（積極的に評価した事項、改善が必要な事項）

【積極的に評価した事項】

- ・総合体育館は、区の総合的なスポーツ施設として一般貸出とともに、多様なスポーツ教室や種目別フリー利用等を実施し、子どもから高齢者まで誰もが活用できる施設としての運営が図られている。なお、GHP エアコン更新工事に際して、工事期間等を利用者に館内掲示等で周知するとともに、冬季には暖房機器を効果的に設置し、快適な館内環境の維持に努めた。
- ・戸越体育館は、地域の身近なスポーツ施設として区民に親しまれるよう運営が図られている。
- ・新型コロナウイルス感染症に係る対応については、令和6年5月8日に感染症法の位置付けが5類感染症に変更されたことに伴い、チェックリストによる体調確認等の運用を廃止し、変更情報を館内掲示やホームページを活用して適切に周知した。
- ・集客力の高いプロスポーツ公式戦（総合体育館：フットサル、戸越体育館：バスケットボール）およびブラインドサッカーのトップリーグ「LIGA.i」（総合体育館）の開催に当たり、区および主催者と連携して、これまで以上に円滑に試合が行われるよう綿密な調整を行った。
- ・スポーツの日記念事業（体育館無料開放）を適切に実施し、延べ910人の参加者にスポーツを楽しむ機会を提供した。
- ・スポーツ協会ホームページを令和6年3月にリニューアルし、総合体育館、戸越体育館の施設、利用案内等をより見やすいよう改善した。

【改善が必要な事項】

- ・利用者の利便性向上のため、教室等の参加申込に係る電子申請システムの導入や、利用料金等のキャッシュレス決済の導入が必要である。
- ・戸越体育館競技場について、以前より少量の雨漏りが確認されていたが、令和6年2月の降雪以降から雨漏りの発生箇所、頻度が増加した。区と連携し、利用団体、利用者に注意喚起を行い、安全な施設利用に努めた。

改善が必要とされた原因の分析および対応方針

- ・現状、教室等の参加申込をはがきやFAXで受け付けているため、スポーツ協会ホームページでの電子申請の導入を段階的に進める。また、利用料金の支払は現金のみとしているため、キャッシュレス対応機器等の導入の検討を進める。
- ・戸越体育館競技場の雨漏り拡大に備えるため、今後、雨漏り時の競技場利用中止の判断、利用者への連絡体制など対応フローを整理するとともに、利用者への雨漏り状況の周知を徹底する。また、令和6年度予定の競技場天井雨漏り対策工事の実施に当たり、工事が円滑に進むようスポーツ協会・スポーツ推進課・施設整備課の関係者間での連絡調整を密に図っていく。

「評価の視点」別のコメント

1 区民満足の視点

- ・「利用者のご意見回収箱」等を活用し、利用者からの要望に丁寧に対応し、すぐに対応可能な要望には速やかに対応し、利用者満足の向上に努めた。
- ・利用者の安全確保を第一に危機管理体制や緊急時対応のマニュアルが構築されている。
- ・各事業を担当するスポーツ指導者等との連絡日誌を作成するなど、現場の声の把握に努めた。

2 予算執行（財務）の視点

- ・購入する物品やサービスの質を適切に判断するとともに、リース契約を活用するなど、費用対効果を常に意識して予算執行を行った。
- ・施設利用料収入は、利用料金の免除団体利用等も多く、予測が難しい面もあったが、随時、収支の状況を把握するとともに、収支のバランスを保った運営に努めた。

3 サービス向上および業務改善の視点

- ・施設を定期的に点検し、今後、修繕が必要となる設備に対して積極的に改善提案を行った。また、館内の設備に不具合が生じた際は、迅速に修繕を行い、利用環境の維持に努めた。
- ・総合体育館と戸越体育館において、協会職員が業務を共有するとともに、受付窓口スタッフを交互配置し、両館の業務レベルの平準化や業務改善等を行うことで、サービスの向上を図った。
- ・体育館で使用する用具の消耗状況を担当者が把握し、適宜買い替えるとともに、参加者の状況にあわせて用具を整えた。トレーニング室のフリー利用については、令和6年1月から老朽化したストレッチマシンを撤去し、ストレッチボールやバランスクッション等を導入した。

4 組織管理体制および業務の適正執行の視点

- ・受付窓口や設備管理等の効率性、専門性が求められる業務は外部委託し、スポーツ協会は、指導者となるスポーツ協会加盟団体等との連携調整や新たな事業の検討等の全体管理を行い、効率的な体育館運営を行った。
- ・サービス向上を図るため、スポーツ協会職員に対して、危機管理（個人情報、コンプライアンス、ハラスメント）に関する研修を実施した。また、受付窓口スタッフに対し、接遇研修、AED・CPR研修、応急手当・熱中症研修等を実施した。
- ・スポーツ協会事務局と受付事業者との定例ミーティングで利用者ニーズの把握や接遇の改善を図るとともに、スポーツ協会事務局・受付事業者・施設維持管理事業者（日野学園温水プールを含む。）との定例ミーティングで、施設運営上の課題や情報を共有した。
- ・併設している日野学園とも、毎月、スポーツ協会・日野学園・施設維持管理事業者・受付事業者の4者で施設運営連絡協議会を開催し、課題や情報の共有化を図るとともに、毎年、区内一斉防災訓練で避難所運営を訓練する等、平素より連携が図られている。

※ 区政運営会議における評価結果

評価の結果、総括シートの内容のとおりとする。引き続き、全ての利用者が円滑に施設を利用できるような体制維持に努めること。また、利用者の利便性向上のため、電子申請システムやキャッシュレス決済の導入を検討すること。